

江小だより

江戸崎小学校 学校だより
発行日 令和6年7月18日
電話 029-892-2200
メール 542901@sch.ibk.ed.jp



今年度の江小スローガンが決定！ 校長 飯塚 敏

いよいよ夏休みも目前になってきました。各学級では、夏休み前のまとめの学習を熱心に行う子ども達の姿が見られます。

6月から始まった水泳学習では、天候にも恵まれ、どの学年も発達段階に応じた学習を行うことができました。保護者の皆様には、毎日の健康観察やリバーへの入力をしていただきましてありがとうございました。

また6月には、各クラスで江小スローガンを話し合いました。代表委員会では各クラスの代表が発表した後、中央委員会が中心となって今年のスローガンを決定しました。

今年度の江小スローガンは

「思いやりの心あり 人を気づかう心あり たくさんの個性あふれる江戸崎小学校」

です。思いやりと人を気づかう心をもち、お互いの個性を認め合っていくことで、江戸崎小学校をいじめのない、楽しい学校にすることができるはずです。児童と教職員、ともに力を合わせて、スローガンのような素敵な学校にしていこうと思います。

稲敷市民会議の皆様によるあいさつ運動と素敵なお話

7月2日～4日、稲敷市民会議の皆様によるあいさつ運動が行われました。3日間とも、朝7時40分頃から正門や昇降口付近で、子ども達とさわやかなあいさつを交わしていただきました。参加していただいた皆様からは、「元気をいただきました」「元気なあいさつは気持ちいいですね」等のお言葉をいただきました。しかし、江戸崎小全体としては、「元気なあいさつ」は課題です。これからますます元気なあいさつの輪が広がってほしいと思います。



そんな中、先日、ある保護者の方が連絡帳で素敵なお話を知らせていただきましたので紹介します。

「昨日、マツキヨにて立哨当番をさせていただきました。すき家の方面から来る7人編成の登校班のお子さんたちのあいさつにとっても感心させられました。全員が私の目を見て、元気いっぱいのあいさつをくれました。言葉だけでなく、目と目のあいさつがいかに気持ちが良いことかを改めて気付かせてくれました。我が子もこんな気持ちの良いあいさつができるお兄さんになってほしいなと感じました。」

成田空港発着の周遊フライト体験

6月24日、6年生が成田空港発着の周遊フライト体験に参加しました。これは、稲敷市環境課と市教育委員会が協力して、成田空港との共存・共栄を図っていく事業の一つとして市内小学校の6年生を対象として行われたものです。当日は、空港内の見学、機内での学習、機内食の昼食、お土産のお買い物など、様々な体験を通して、航空会社や空港での仕事にたくさん触れることができました。晴天の絶好のフライト日和で、6年生は素敵な思い出をつくることができました。



JALグループの「SPRING JAPAN」の飛行機でフライトしました！

夏休み前 PTA 授業参観

7月3日、夏休み前 PTA 授業参観が行われました。大変暑い日でしたが、足をお運びいただきましてありがとうございました。

話し合い活動、探求学習の発表会、タブレットを活用した授業など、4月から比べてお子様の成長した姿を御覧いただけたのではないかと思います。

当日は、学校運営協議会委員や民生委員の皆様にも参観していただきました。参観後には、「とても落ち着いて学習に取り組んでいた」「1年生も上手にタブレットを使ってびっくりした」などの感想をいただきました。

授業参観後、第2回学校運営協議会が行われました。これまでの地域協働活動、江戸崎小学校としての課題、今後、支援や交流可能な活動について話合いただきました。下校時の見守りや授業支援などは市の既存団体を活用しながら進めていくことが可能であるなど、様々な意見が出され、大変有意義な話し合いとなりました。

